

令和2年度 第1回

総合教育会議 会議録

曾於市

令和2年度 第1回総合教育会議

日 時	令和2年11月10日(火) 午前10時30分～11時30分
場 所	曾於市役所3階 執行部控室
出席者	五位塚 剛 市長 八木 達範 副市長 瀬下 浩 教育長 馬場 雅子 教育委員 川畑 和徳 教育委員 地主園 栄美子 教育委員 長野 かおり 教育委員 事務局 総務課長 総務課 施策推進室 室長 総務課 施策推進室 係員1名 教育委員会 総務課長 社会教育課長 学校教育課長 総務課長補佐 総務課 総務係 係員1名 曾於高校 学校長(協議事項(1)のみ)
会 順	審 議 の 結 果 等
1 開 会	開会時刻 10時30分 進行:総務課長
2 市長あいさつ	◎市長 本市におきましては先日新型コロナウイルス感染症が発生しましたが、今のところは1名にとどまっております。引き続き皆さまには、感染症拡大防止に努めていただきたいと思います。 今年度は、全ての小中学校へ空調の整備を行いました。また、生徒一人ひとりが使用できるタブレットの導入も行います。 曾於高校への支援策も検討を行っておりますので、本日は皆さまにご審議の程、よろしく願いいたします。

会 順	審 議 の 結 果 等
<p>3 協議事項</p> <p>(1) 曾於高校総合支援対策事業の総括及び今後の支援策について</p>	<p>◎市長 曾於高校総合支援対策事業の総括及び今後の支援策について説明をお願いします。</p> <p>◎教育委員会 総務課 課長補佐 (曾於高校総合支援対策事業の総括及び今後の支援策について説明)</p> <p>◎市長 曾於高校については、市内唯一の高校ですので様々な支援策を行ってきました。しかし、アンケートでは進学祝金が曾於高校に進学する大きな理由とはなっていないとの結果になりました。今後は進学祝金に代わる支援策を検討しております。</p> <p>◎川畑委員 私は曾於高校の学校評議員を務めていますので、以前学内を見学したことがあります。とても活気があり学びの場として良い雰囲気でした。市からも曾於高校の魅力を高める支援策をぜひ行ってもらいたいと思います。 また、曾於高校を盛り上げているのは、建物や施設ではなく、教員の方々によるところが大きいと思われます。市議会でも文教厚生委員会等で、見学に来ていただければと思います。</p> <p>◎曾於高校 学校長 曾於高校としまして、市からの支援策には大変感謝しております。新たな支援として卒業後ではなく在学中に学習支援が受けられることは、中学の学習でつまづいている生徒が再学習できる機会や、難関大学への進学に繋がっていくと思われます。 しかしながら、学習支援のアプリケーションは生徒個人のスマートフォンを使用することになりますので、将来的には生徒一人ひとりに専用のタブレットを配布できればと考えております。</p>

	<p>◎市長 学習支援システムは、どのような内容になっていますか。また、使用するの、個人の端末になりますか。</p> <p>◎教育委員会総務課長補佐 インターネット学習支援システムは一人あたり年間約6千円、衛星講座受講料は一人あたり2教科で年間2万円となっています。生徒の約97パーセントが端末は個人のものを使用してもらいますが、所持していない生徒のため貸出用の端末を数台購入する予定です。</p>
(2) 曾於市の学校規模の現状について	<p>◎市長 曾於市の学校規模の現状について説明をお願いします。</p> <p>◎教育委員会 総務課 課長補佐 (曾於市の学校規模の現状について説明)</p> <p>◎市長 現在、大隅町の小学校から統合したいという希望を聞いています。行政としては、統合を指導することは無いですが、地域やPTA等から児童数の減少などを踏まえて、統合の要望があれば積極的に進めていきたいと考えております。 これまで市内の児童は平等な環境で学んでもらうために、体育館や空調など整備してきており、それらが無駄になってしまうという考えもありますが、児童にとってより良い環境にするため、必要なことであるにご理解いただければと思います。</p>
(3) コミュニティースクールについて	<p>◎教育委員会 総務課 課長補佐 (コミュニティースクール制度及び市内3中学校、末吉・岩川・財部小学校への導入について説明)</p>
(4) 曾於市地域コミュニティ活性化推進計画について	<p>◎総務課 施策推進室 室長 (曾於市地域コミュニティ活性化推進計画について説明)</p> <p>◎川畑委員 地域コミュニティ協議会へは、事務スタッフを配置するとなっていますが、具体的にはどのようなになるのでしょうか。</p> <p>◎総務課 施策推進室 室長 現在は、各モデル地区に1人ずつ集落支援員を配置してお</p>

	<p>り、協議会の運営・事務等の支援を行っていきます。今後、同様に集落支援員を配置又は、地域から雇用してその人件費等を市が負担することを検討しています。</p> <p>◎馬場委員 活性化推進計画に自治会未加入者が自治会に加入しない理由が挙げられていますが、このような方への取組みが先に必要なのではないかと思います。</p> <p>◎総務課 施策推進室 室長 自治会加入率は年々減少しており、今年度5月現在で約3割の世帯が未加入となっています。 地域コミュニティ協議会は、自治会の加入・未加入に関わらず地域の一員として参加してもらい取組みを行います。 今後、各モデル地区の地域に住まれる中学生以上の全住民にアンケートを行い、未加入の理由等を調査して、取組みを進めたいと考えています。 また、他市の先進事例では、協議会の活動に自治会の加入に関わらず子どもたちに参加してもらい、保護者の参加に繋がられています。</p> <p>◎市長 自治会の加入金も加入するハードルになっているのではありませんか。市で調査は行われていますか。</p> <p>◎総務課長 数年前にアンケート調査を行っていますが、再度実施を検討します。 市としては、令和元年度まで自治会に交付していた加入促進助成金を見直し、今年度からは加入した本人に1万円、自治会に5千円交付しますので、加入金の補助にもなるのではないかと考えています。</p>
<p>(5) 本庁・支所機能再編計画及び庁舎整備計画等の概要について</p>	<p>◎総務課 施策推進室 室長 (本庁・支所機能再編計画及び庁舎整備計画等の概要について説明)</p> <p>◎市長 教育委員会を含む本庁機能の末吉本庁の移転は、庁内外に様々な検討の場を設け、市民の方や市議会へも丁寧な説明を</p>

	<p>◎市長 他に何かありませんか。 それでは、以上で協議を終了させていただきます。</p>
4 閉 会	開会時刻 11時30分